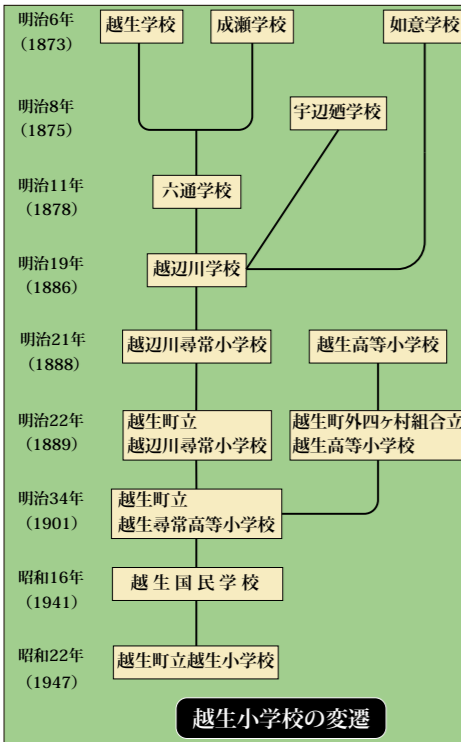




明治5年(1872)に「学制」が公布され、国民哲学を目指して小学校設立が進められました。越生町では翌年から寺院を間借りする形で小学校が設立されました。本年は越生小学校、梅園小学校の創立150周年にあたります。



越生小学校の歩み
 明治6年(1873)、越生村法恩寺に越生学校(越生村・黒岩村の児童が通学)、如意村常福寺に如意学校(如意村・西和田村・箕和田村(現毛呂山町)・上野村)、成瀬村見正寺に成瀬学校(成瀬村・古池村・鹿下村・津久根村)が設立されました。同8年には上野村医王寺に宇辺廻学校が新設され、上野村の児童が通うようになり、同19年、「再改正教育令」を受けて埼玉県下では学校の統廃合が進められました。越生でも如意学校、宇辺廻学校、六通学校の3校を合併して越辺川学校が誕生し、同21年には校舎を字岡崎(現中央



▲写真左の建物が越辺川小学校以来の校舎

公民館)に新築移転して「小学校令」に基づく越辺川尋常小学校と、越生高等小学校を開校しました。同43年からは県内でも稀な3年制の高等科の設置を認可されました。昭和22年に越生小学校と改称、同52年に現校地に移転されています。



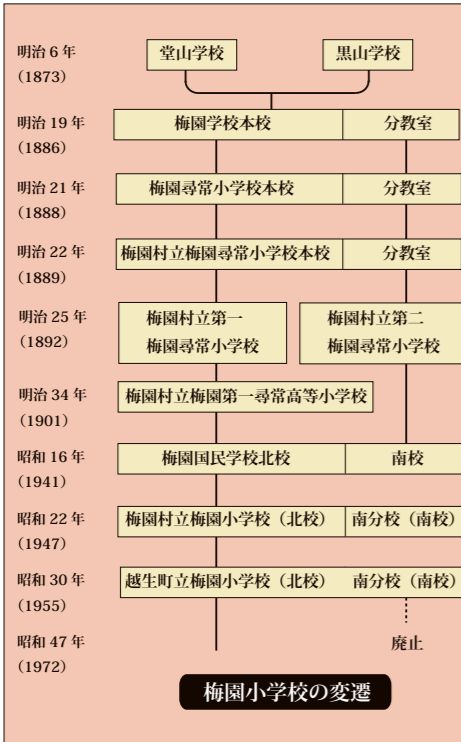
▲第一梅園尋常高等小学校



▲第二梅園尋常小学校

越生浪漫
No.177

越小・梅小
学校創立150周年



梅園小学校の歩み
 明治6年、梅園地区では、黒山村下ヶ戸薬師に黒山学校(大満村・黒山村・龍ヶ谷村の児童が通学)、堂山村最勝寺に堂山学校(小杉村・上谷村・麦原村・堂山村・大附村(現ときがわ町))が設立されました。同14年、黒山学校は入学者増加による学校環境の改善を理由に校舎を新築移転しています。同19年、学校統合推進政策に従って黒山学校と堂山学校が合併し、梅園学校が誕生しました。梅園学校は旧堂山学校を本校、旧黒山学校を分教室として開校されましたが、同25年には教育事務上の困難さもあって別々の尋常小学校

に改められました。同34年、新築校舎がなかった第一梅園尋常小学校(旧堂山学校)は、手狭になったこと、県が寺院などを小学校として使用するのを禁止したことなどを理由に最勝寺裏に校舎を新築しました。同時に梅園村初の高等科が設置されています。戦時下の昭和16年、2つの小学校は再び合併し、梅園国民学校北校(旧第一梅小)と南校(旧第二梅小)に改称されました。両校とも増改築等を経て、北校は同32年に校舎を新築移転(現校地)し、南校は同47年に閉校となりました。南校跡地には二宮金次郎像が遺されています。



梅園小学校

9月27日(水)、28日(木)に6年生が越生小学校と合同で栃木県日光市に修学旅行へ行ってきました。修学旅行は、華厳の滝や東照宮、日光江戸村などを巡り、越生小学校の6年生と交流を深めるとともに、楽しい思い出をつくることができました。



越生小学校

9月27日(水)、28日(木)に6年生が、修学旅行に行きました。奥日光湯本温泉では足湯を体験したり、中禅寺湖では遊覧船に乗ったりしました。また、日光東照宮や華厳の滝、日光江戸村なども見学しました。児童にとって思い出深い、楽しい修学旅行になりました。

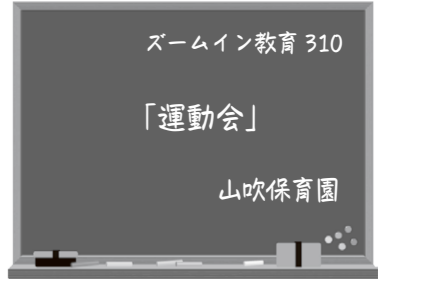


越生中学校

9月27日(水)に越生町役場関係各課の皆さんのご協力により、「おごせまなび亭」講座を実施しました。越生中ふるさと教育の一環で、「越生町の長期総合計画のあらまし」「越生町の商工業」「公民館活動とは」の3つのテーマについてオンラインで学習しました。



おごせっ子広場
 町内の小中学校や町の行事等に参加する子供たちを写真で紹介するコーナーです。



新型コロナウイルス感染症が五類になり、山吹保育園も徐々に生活・行事をコロナ禍前に戻しつつあります。運動会もその一つです。今年のテーマは「ジャンボリー！」みんな元気で楽しく陽気に踊り騒ぐという意味です。子どもたちが運動会を楽しめるようにとの願いを込めました。運動会の各種目を通して「クラスの勝利のために一致団結！協力し合う楽しさを感じる」ために練習したり作戦会議をしたりしながら、練習に取り組んできました。当日はたくさんの方の保護者の皆様の声援を受けながら子どもたち



は一生懸命頑張ってくれました。一位でも三位でも一生懸命頑張ることは素晴らしいということが分かり、そこに至るまでの協力の大切さ、練習の大切さ、くじけないことの大切さを少しでも感じ、明日へまた羽ばたいていってほしいなと思います。